

令和6（2024）年度 第5回柏崎市地域公共交通活性化協議会（書面協議結果）

令和6（2024）年12月13日付け柏交協第15号で実施した書面協議の結果を下記のとおり報告します。

記

1 書面協議における議事

令和6年度地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）の事業評価について

2 書面協議回答数

21名（委員数は21名）

3 書面協議結果

1に掲げる議案について、回答者全員が承認した。
また、次の意見が付された。

【意見】

- (1) ご存じの通り当社は運転士不足に悩まされ続けています。野田線の532円、久米線に至っては1,263円の利用者一人乗車あたりの財政負担という数字に愕然としています。私自身柏崎市民である以上、これ以上の税金のムダ使いはやめてほしいです。事業者の立場として運転士不足を少しでも解消するには、枝線を廃止して完全あいくる化にするのが得策ではないでしょうか。
- (2) 市街地と中山間地を結ぶ路線バスの利用者は人口減少により年々減少しているが、唯一の公共交通機関であるため、地域公共交通の維持に本事業は必要であったと考えます。

【回答】

- (1) 野田線、久米線ともに利用者数が前年度から大幅に減少したことで、利用者一人当たりの財政負担額が大きく増えております。今後の当該バス路線の利用状況を見極めながら、運転士不足の状況も踏まえて運行本数の見直しは必要なものと捉えております。
また、野田線及び久米線の廃止、「あいくる」への完全転換について御提案をいただきましたが、路線バス及び「あいくる」の運行事業者である貴事業所のみならず、今後、協議会全体においても意見交換させていただきたいと考えております。
- (2) 今後も生活交通を確保していくため、より効果的な利用促進事業を展開してまいります。また、現在策定中である柏崎市地域公共交通利便増進実施計画に基づき、利用実態に応じた運行の効率化・見直しを行うとともに、高校生等の通学利用を促進するためのダイヤの見直しを実施してまいります。